

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業		
事業担当	健康・こども部 保険年金課・健康課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第24条、国民健康保険法第82条、国民健康保険条例第7条		
対象・受益者	平塚市国民健康保険被保険者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
被保険者の疾病（特に生活習慣病）予防、健康の保持増進を図ります。		糖尿病などの生活習慣病の有病者・予備群を減少させるため、被保険者に対して、より健康的な生活習慣への行動変容を促し、内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	特定健康診査実施率			単位	%
	説明・算定式	特定健診受診者数÷当該年度当初における40歳以上の国民健康保険加入者数×100(実績値は速報値のため、数値確定後に置き換え)＜平成22年度まで確定値＞				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	40	50	60	65	
	実績	18.2	24.3	24.5		
活動指標②	指標名	特定保健指導実施率			単位	%
	説明・算定式	特定保健指導利用者数÷特定保健指導対象者数×100(実績値は速報値のため、数値確定後に置き換え)＜平成22年度まで確定値＞				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	30	35	40	45	
	実績	21	11.4	16.2		
成果指標①	指標名	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群減少率			単位	%
	説明・算定式	(1-当該年度の該当者及び予備群の数÷基準年度(平成20年度)の該当者及び予備群の数)×100(実績値は速報値のため、数値確定後に置き換え)＜平成22年度まで確定値＞				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	1	3	5	10	
	実績	1.4	1.9	1.4		
成果指標②	指標名	計画策定進捗率			単位	%
	説明・算定式	(平成24年度のみ)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標				100	
	実績					
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	受診勧奨を行い、受診率・保健指導実施率共に向上したが、目標値には届かなかった。				
平成23年度の主な取組と成果						
40歳以上の被保険者に対し、特定健康診査・人間ドックを実施しました。特定健康診査等のレベルに合わせた保健指導(情報提供、動機づけ支援、積極的支援)を実施しました。						
平成23年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	法令等に基づく事務のため、市として関与する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	法令等に基づく事務であり、メタボリック症候群の予防という点からも有効性が高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	保険年金課、高齢福祉課、健康課の各課が連携して事業を推進しており、業務の執行体制の面からも妥当性が高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	特定保健指導の実施は、一部で民間活力の活用(アウトソーシング)を行い、コストの削減、民間ノウハウの活用を図ります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 健診受診者の増加率が想定を下回っているため、効率的・効果的な実施方法や受診の勧奨について検討する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導	内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導の実施	内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導の実施	内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導、実施計画(第2期)の策定
財源内訳	国庫支出金	34,023	31,134	22,470	27,106
	県支出金	34,023	47,533	29,828	48,523
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	20,349	52,804	76,980	112,364
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		88,395	131,471	129,278	187,993
執行率 (%)		45.29	49.09	51.53	
内訳	職員 (人)	2.51	3.20	1.17	2.29
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		20,974	26,429	9,482	18,355
フルコスト (A+B)		109,369	157,900	138,760	206,348

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針 平成29年度の目標値である、特定健康診査の受診率35%及び特定保健指導の実施率27%を達成するため、実績向上のための各種方策を実施します。
課長コメント 内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導は、被保険者の健康を保持増進するために重要な施策であり、また中長期的には医療費適正化にもつながることから、健診結果に基づき、生活習慣病のリスクが高い方への効果的な保健指導等の実施は必要なものと評価します。